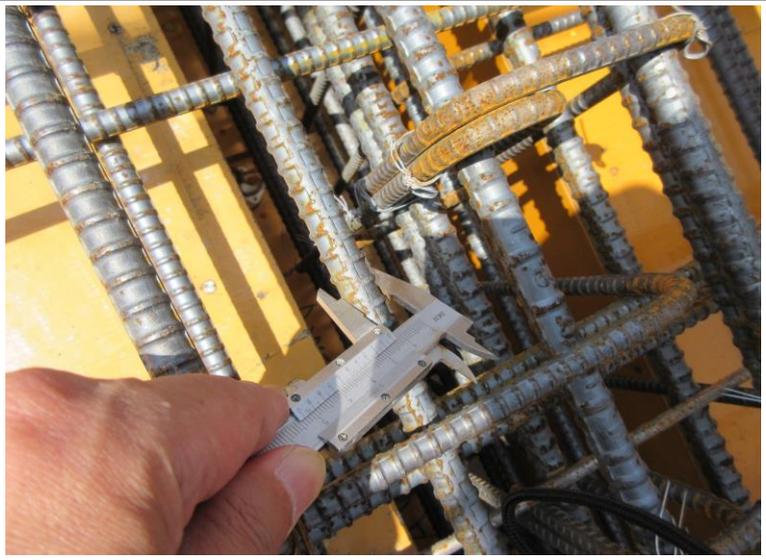
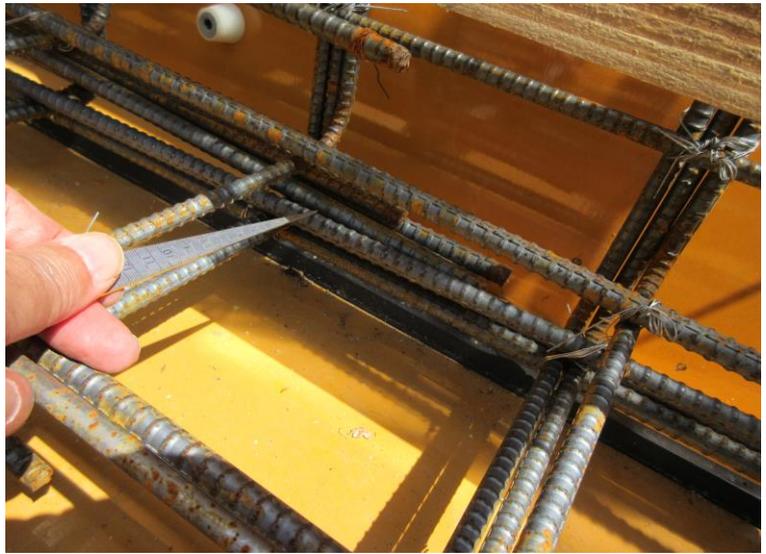
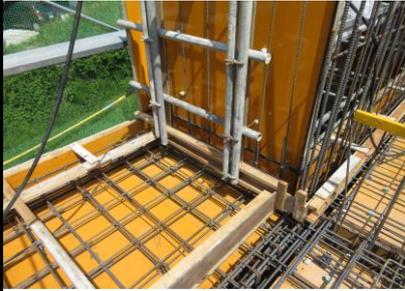


現況検査により認められる状況の記録

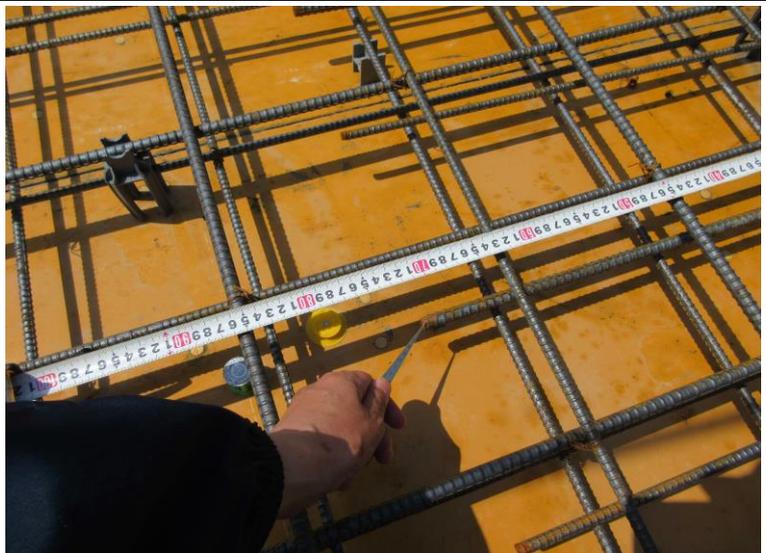
令和5年5月17日	
NO	91
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
S3スラブとの取り合い部には、計画 (施工図) 通りに補強筋 (D13) が設置されていることを確認。	



令和5年5月17日	
NO	92
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
手すり壁下端部には、計画 (施工図) 通りに補強筋 (D13) が設置されていることを確認。	



令和5年5月17日	
NO	93
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
キャンティスラブ (CS1) の上端主筋の定着長さ (梁の内面より500mm) が十分確保されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

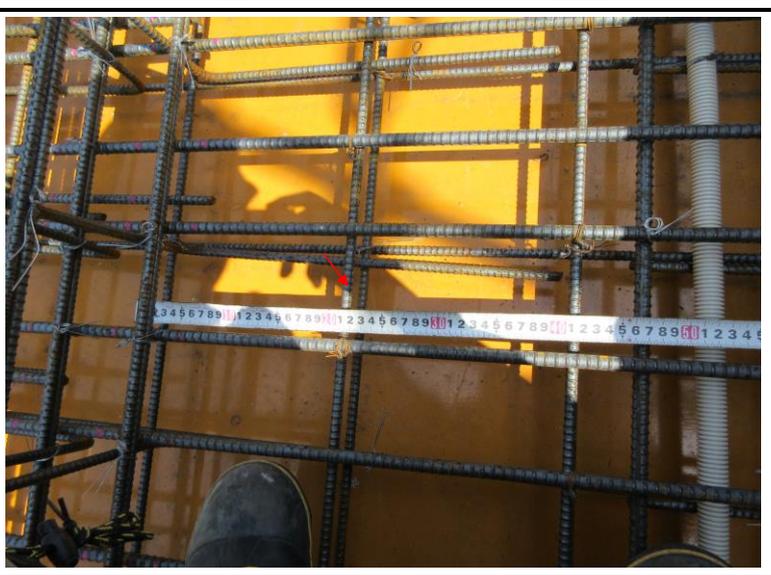
令和5年5月17日	
NO	94
場所	AB棟 (A棟)
部位	AX5~6通り
AX5~6通りの跳ね出し部は、打合せの内容 (撓み防止などの目的) 通り、S1からS3へ安全側に変更されていることを確認。	




令和5年5月17日	
NO	95
場所	AB棟 (A棟)
部位	AX5~6通り
同上。	




令和5年5月17日	
NO	96
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS4)
CS4の上端配筋筋に鉄筋の不足などがあることを指摘。(D10・D13のチドリになっていない。)	

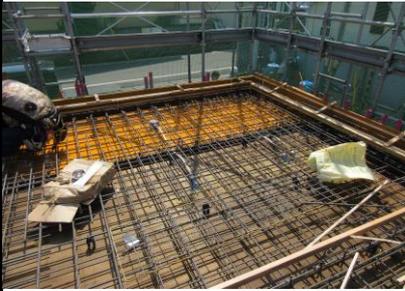
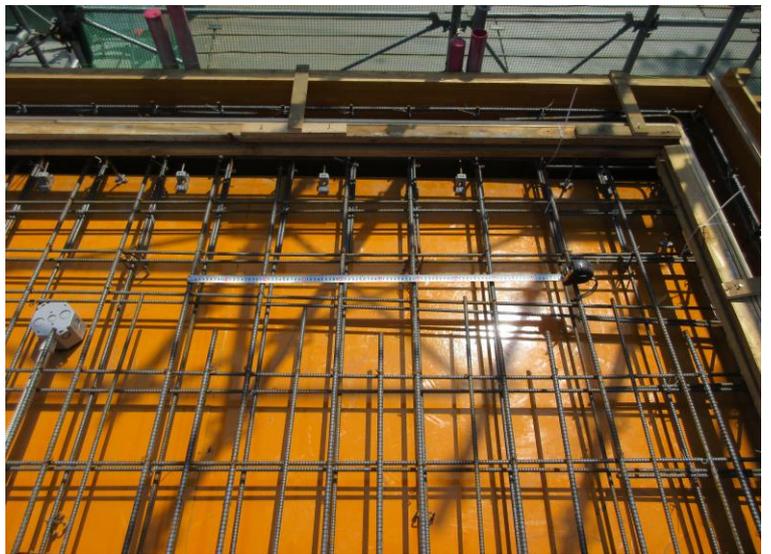



現況検査により認められる状況の記録

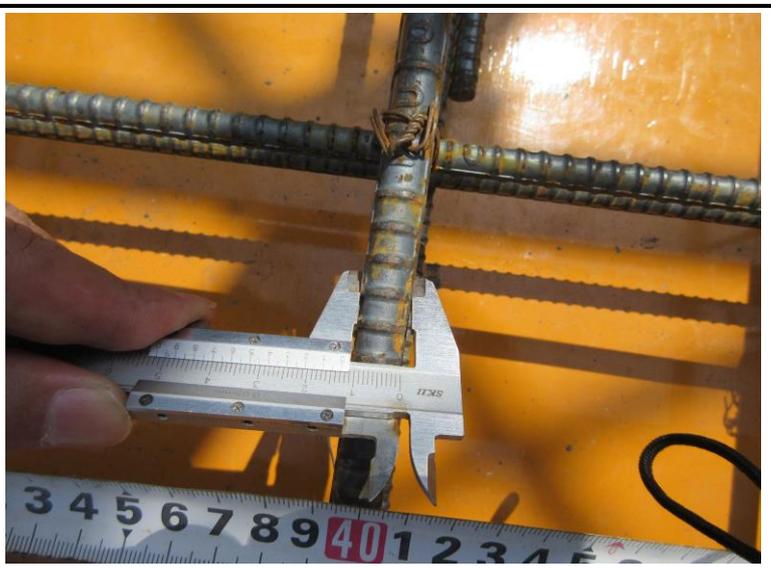
令和5年5月18日	
NO	97
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS4)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	




令和5年5月17日	
NO	98
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS2)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋：短辺方向) D13@200mm	

令和5年5月17日	
NO	99
場所	AB棟 (A棟)
部位	キャンティスラブ (CS2)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

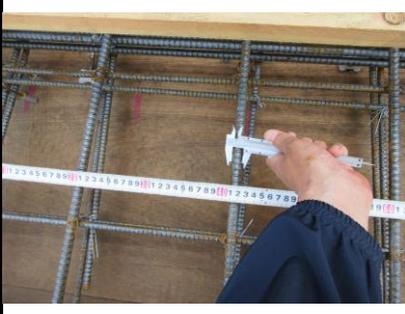
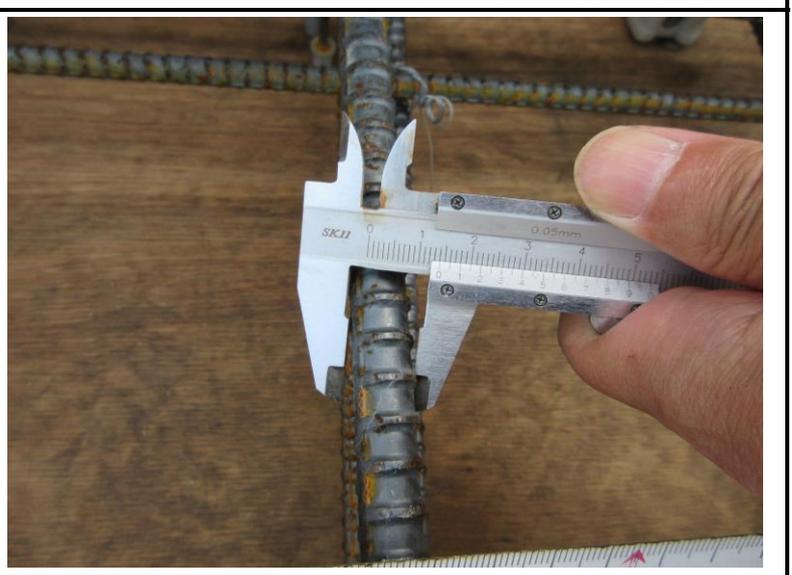
令和5年5月17日	
NO	100
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S5)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@100mmチドリ (縦横共)	




令和5年5月17日	
NO	101
場所	AB棟 (A棟)
部位	外部廊下 (CS2)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋：短辺方向) D13@200mm	




令和5年5月17日	
NO	102
場所	AB棟 (A棟)
部位	外部廊下 (CS2)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月17日	
NO	103
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)

貫通部のスリーブ廻りに鉄筋がぶり厚さ(20mm以上)の不足箇所があることを指摘。




令和5年5月17日	
NO	104
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。



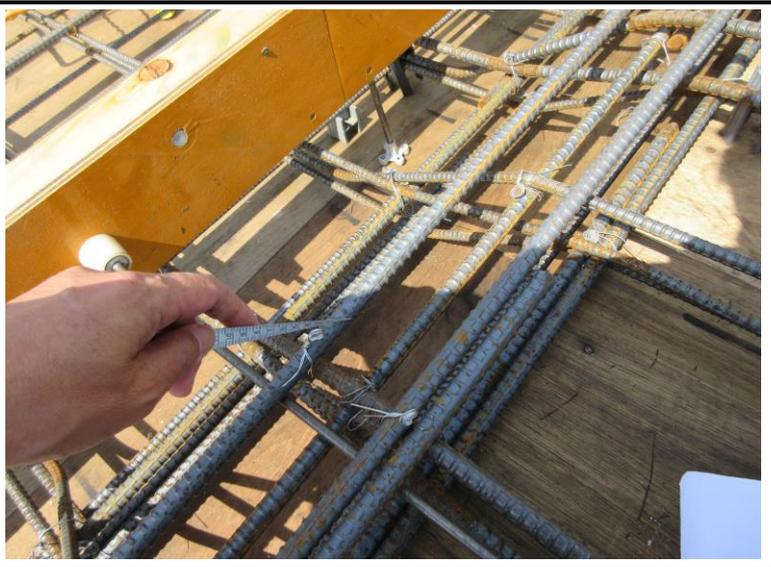

令和5年5月17日	
NO	105
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)

S3段差スラブの上端配力筋に鉄筋の不足箇所があることを指摘。




現況検査により認められる状況の記録

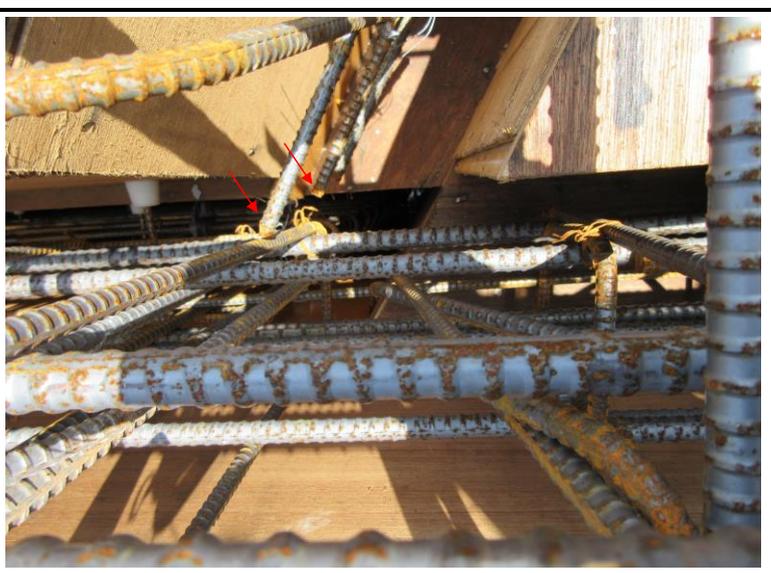
令和5年5月17日	
NO	106
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S3)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

令和5年5月17日	
NO	107
場所	AB棟 (A棟)
部位	床スラブ (S4)
スタジオ上部となる範囲のスラブ厚さは、計画通りに50mm増し (遮音性能の向上を目的) となっていることを確認。	

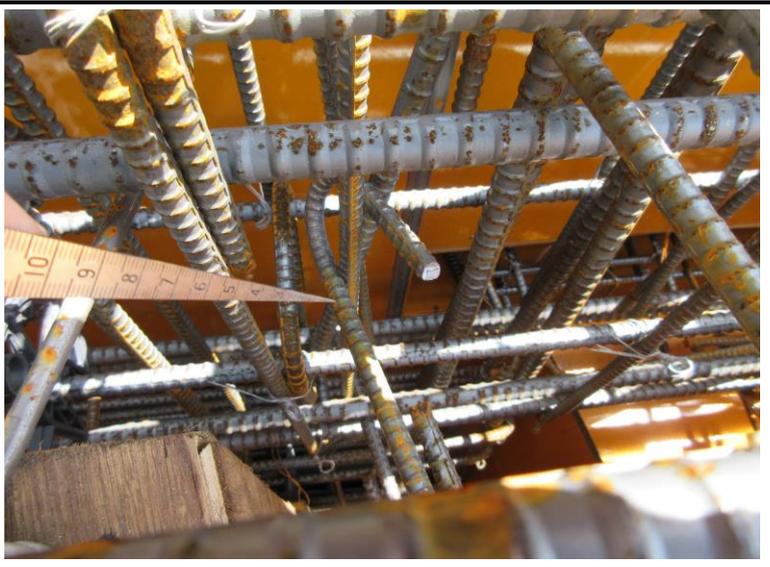



令和5年5月17日	
NO	108
場所	AB棟 (A棟)
部位	雑壁 (W15)
非構造壁 (W15: 下がり壁を含む) の上部横筋の定着が欠落していることを指摘。(共通事項)	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月18日	
NO	109
場所	AB棟 (A棟)
部位	雑壁 (W15)
上記指摘に関しては、同様箇所を含めてその場にて是正が行われたことを確認。 (一部写真提出による)	



令和5年5月18日	
NO	110
場所	AB棟 (A棟)
部位	雑壁 (W15)
同上。	

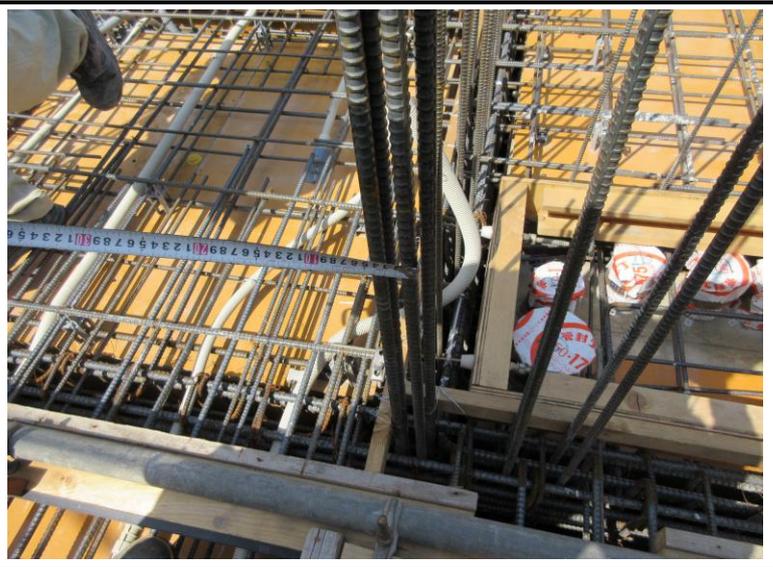


令和5年5月18日	
NO	111
場所	AB棟 (A棟)
部位	雑壁 (W15)
同上。	

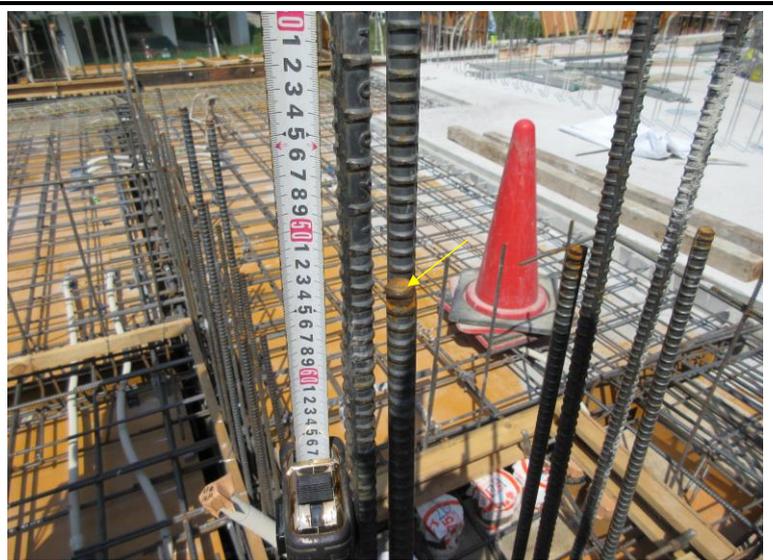


現況検査により認められる状況の記録

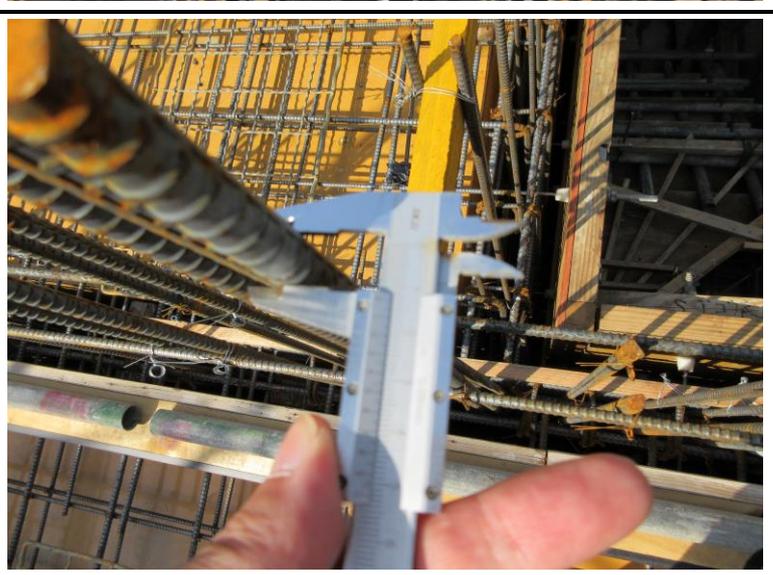
令和5年5月18日	
NO	112
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
壁端部 (交差部) 補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	

令和5年5月18日	
NO	113
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
同上。(隣り合う鉄筋の継手位置は、0.5×L1の離隔距離が確保されている。)	

令和5年5月18日	
NO	114
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
同上。	

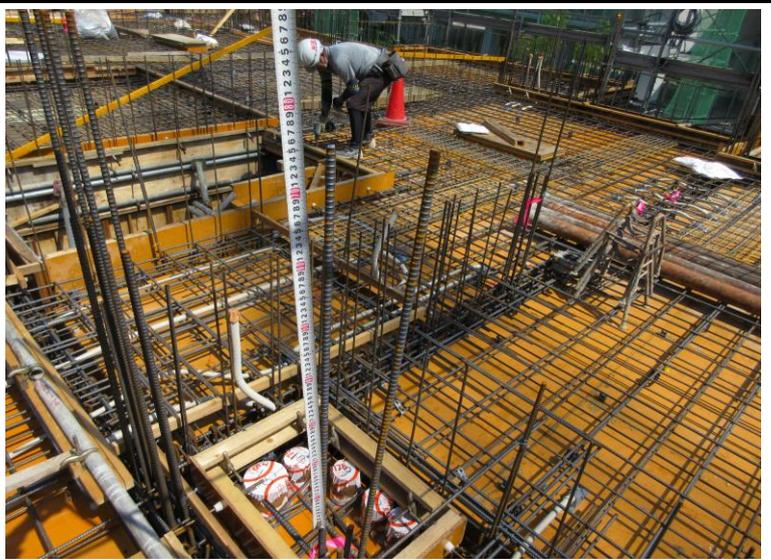



現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月18日	
NO	115
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
壁端部 (交差部) 補強筋に欠落箇所などがあることを指摘。	




令和5年5月18日	
NO	116
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

令和5年5月18日	
NO	117
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
壁端部 (交差部) 補強筋に欠落箇所などがあることを指摘。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月18日	
NO	118
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	



令和5年5月18日	
NO	119
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
壁端部 (交差部) 補強筋に欠落箇所などがあることを指摘。	



令和5年5月18日	
NO	120
場所	AB棟 (A棟)
部位	壁端部補強筋
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

